学校番号	3020

令和８年度　商業科

教科	商業科	科目	課題研究	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	ゼロから始める探究活動 課題研究メソッド ZERO（啓林館）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

これまでの鶴見商業高校商業科での学びの中で、新しい発見や興味深い発見が様々あったでしょうか。この講座は、そういった発見について、もっと知りたい、もっと学びたいといったみなさんの内側にある向上心を存分に引き出すことのできる大切な授業です。この授業では、自ら設定したテーマのもと、課題解決のために自らアイデア（仮説）を出し、個人で学習を進めて、そのアイデアが実際に実現可能かを検証していきます。定期考査は実施しません。ビジネスに関するテーマについて、その知識や発見を得る過程で、何事に対しても一生懸命に粘り強く取り組む姿勢や課題解決力をこの講座で身につけてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
自ら設定した課題に対する解決策を提示するために、これまで学んだ専門知識や調査・研究の過程で得た知識を活用する。
【思考力、判断力、表現力等】
調査・研究の成果を論文作成し、発表を行う。
【学びに向かう力、人間性等】
課題に対する解決策を提示するために、粘り強く調査・研究に取り組むことができる力を養うとともに広い視野で主体的に考察できる問題解決能力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生徒自ら設定した課題について基礎的な知識を身につけ、理解を深めることができている。 また、プレゼンテーションソフトの活用や資料や冊子の配布をするなどし、課題解決に向け収集した情報を適切に活用しながら効果的な研究発表ができている。	生徒自らが設定した課題に対して思考を深め、課題解決に向け収集した情報を適切に判断及び表現する力を身につけている。また、論理的で客観性のある意見を論じることができている。	生徒自らがビジネスの諸問題に関心を持ち、自ら課題設定をしている。主体的かつ積極的に課題解決に向けて取り組むことができている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	論文作成 研究発表	1章　問いを立てよう 2章　テーマを決めよう 3章　リサーチクエスチョンを導こう …初回論文の作成 …初回プレゼン 4章　計画を立てよう …研究計画書の作成	a:　研究テーマについての知識を身につけそのテーマについて理解を深めることができる。 a:客観的な事実に基づいたレポート作成やプレゼンテーションができる。 b:　課題解決に向けて収集した情報を適切に判断し、レポート課題やプレゼンテーションに活かすことができる。b:作文ではなく論文として、論理的な思考で成果を上げることができる。 c:　ビジネスについて興味を持ち、自らの意志で研究テーマを決めることができる。 c:ビジネスについて興味・関心を持ち、自らが設定した課題の解決に向けて、主体的かつ積極的に取り組むことができる。	提出課題 ワークシート 発表	提出課題 ワークシート 発表	レポート課題 ワークシート 観察
2学期	論文作成 研究発表	研究計画書に基づいた、調査・研究活動 …中間報告プレゼン 終章　探究活動を発表しよう …卒業論文の作成	a:　研究テーマについての知識を身につけそのテーマについて理解を深めることができる。 a:論文作成やプレゼンテーションにおいて、収集した情報を効果的に活用することができる。 a:参考文献や出典を正確に記したり、文章の校正が正しく行ったりすることができる。 b:　課題解決に向けて収集した情報を適切に判断し、卒業論文やプレゼンテーションに活かすことができる。 b:作文ではなく論文として、論理的な思考で成果を上げることができる。 b:調査・研究活動によって得られたデータに対して考察し、自分の考えを持つことが出きる。 b:伝わりやすい資料作成、プレゼンテーションができる。 c:　ビジネスについて興味・関心を持ち、自らが設定した課題の解決に向けて、主体的かつ積極的に取り組むことができる。	提出課題 ワークシート 発表	提出課題 ワークシート 発表	レポート課題 ワークシート 観察

3学期	卒業研究発表	終章　探究活動を発表しよう …卒業研究プレゼン	a:　研究テーマについての知識を身につけそのテーマについて理解を深めることができる。 a:プレゼンテーションにおいて、収集した情報を効果的に活用することができる。 b:　課題解決に向けて収集した情報を適切に判断しプレゼンテーションに活かすことができる。 b:調査・研究活動によって得られたデータに対して考察し、自分の考えを持つことができる。 b:伝わりやすい資料作成、プレゼンテーションができる。 c:　ビジネスについて興味・関心を持ち、自らが設定した課題の解決に向けて、主体的かつ積極的に取り組むことができる。	提出課題 ﾜｰｸｼｰﾄ 発表	提出課題 ﾜｰｸｼｰﾄ 発表	ﾚﾎﾟｰﾄ課題 ﾜｰｸｼｰﾄ 観察

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度